

アップス PRESS

家にも学校にもないものを。

27
September 2025

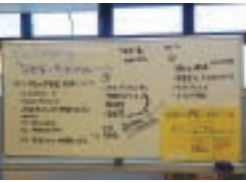
\\ みんなで考える !! // 青少年会議室の利用ルール

<J-meeting とは>

若者の声をアップスの運営に反映するために月に1度、実施しています。テーマに合わせて、アップスのルールやアップスでやってみたいことについて自由に意見を出し合います。

<6月のJ-meetingでは>

意見箱の「小学生も学習室を利用したい」という内容の投書をきっかけに、これまで集まった学習室利用の要望（PCの使用や小学生の利用など）を軸に意見交換を実施しました。話し合いの結果、学習室については既存のルールでの利用を継続し、代わりに「青少年専用会議室」の使い方の見直しを検討していくことに決定しました。見直しにあたって、より広く意見を集める工夫として、若者の意見を取り入れた新しいルールの運用の試行期間を設けることになりました。



これまでの利用方法

- ・利用対象は中学生以上
- ・他スペースで行うことが難しい用途で使用する場合 90分2コマまで事前に予約可能。（使用の前日から予約可能）
- ・学習室満席時に、混雑状況に合わせて学習用に開放

試行中の青少年専用会議室の利用ルール

※平日、会議室の予約が入っていない場合に限り

- 1 会議室を第二の学習室として開放
- 2 会議室では、パソコンの使用可
- 3 利用対象者は小学生以上

現在アンケートで、試行中のルールについて皆さんの意見を募集中!!
館内にアンケート用紙と二次元バーコードを用意してあるので、ぜひみなさんの声を聞かせてください。9月27日(土)開催予定のJ-meetingでは、集まった意見をもとに実際に運用していくルールを検討します!!

9月以降の募集案内

アップス・クロストーク 「若者 × 防災」

9/27 18:00-20:00

「防災」について、さまざまな視点からワールドカフェ方式で意見交換をします。地域活動に参加している団体にも事例を報告してもらう予定です。

【対 象】大学生世代で「防災」に興味・関心のある人
【定 員】40人
【申込み】受付またはメールにてお申込みください。

せたがや大人図鑑 「デジタルアートの世界」

9/23 15:00-16:00

くらげアートスタジオの中村朱里さんをお呼びして、デジタルイラストの魅力や、イラストレーターとしてのこれまでの活動・やりがいなどについてお話を伺います。また、参加者と一緒に絵を描くワークショップも行います。

【対 象】中学生以上の若者
【申込み】受付またはメールでお申し込みください。

第2回 アップス 運営委員会

9/25 18:30-20:00

若者と地域の方々が交流しながら、アップスについて考える運営委員会。今回は、若者にとってより意見表明のしやすい場づくりについて、意見交換を行います。

【対 象】中学生以上の若者
【申込み】受付またはメールでお申込みください。

スタッフ紹介



星 海月 ホシ ミヅキ

栃木県で生まれ育ち、大学院の時に東京へ。いちごが好物で幼稚園の時に一人で5パック食べた逸話があります。高校では総合家庭科を極め、大学では教育学部で幼小中高特支の教員免許得を取得し、大学院では社会福祉学研究科でユースセンターの研究をしていました。また、高校で家庭科の教員をしていた一面もあります！ゲーム・話題などなど全てにおいて雑食なので、誘ってください〜♪

秋元 咲来 アキモト サクラ

今年からアップスにやってきました！生まれも育ちも大阪でまだまだ東京のことは何も知らないの、ぜひ皆さん教えてください。趣味はイラストやデザイン、手芸、ミニチュアフード製作、ネイル、散歩、ギター、美術史の勉強などなど多趣味。好きな物は犬とクレープと面白そうなこと全てです！人一倍好奇心が旺盛かつ話すことが大好きなので、皆さんの趣味や好きなことについて色々お話ししてください〜！



世田谷区立希望丘青少年交流センター
「アップス」

Access
〒156-0055 世田谷区船橋 6-25-1-3F
HP
https://ups-s.com/
X (旧 Twitter)
@ups_setagaya
Tel
03-6304-6915
Fax
03-6304-6916



▲HPはこちら

CONTENTS

縁日

クロストーク

せたがや若者ファンディング
ユースカウンシル

各種案内
スタッフ紹介

アップス縁日は、主にアップスで活動をしている若者たちが、地域の方々に日頃の感謝を伝えることを目的にしたお祭りです。子どもたちとの関わりや実践的なお店の運営によって、若者の成長や実社会に近い形で仕事をする機会に繋がっています。今年は8月30日(土)に開催。

ここ数年、アップス縁日の開催チラシは、アップスを利用している若者がイラストの作成に挑戦しています。今年も昨年チラシを作ってくれた若者とその友人の2名が、デジタルで丁寧に作成してくれました。奥行きあるお店や髪飾りにアップス公式キャラクターが使われています。ど、細部にこだわって仕上げています。

出店者たちは、景品やゲームルールを考え1からゲームを作り、他の若者もシミュレーションや試作を繰り返しながらルール決めや販売に向けた準備を行っていました。

縁日

来場者数は1073人の中には浴衣姿で参加してくれた若者たちもあり、アップス縁日を楽しみにしてくれていたことが伝わってきました。

アップスと地域体育館に設営されたお店は26店舗。射的や缶蹴りなどから手作りの漫画・アクセサリーを売るお店、飲食はポップコーンや綿あめ、レモネードなど、さまざまなお店が並びました。若者たちはゲームでとった景品や手作りの商品を「これあそこのお店で買ったんだ」と得意気に見せてくれました。

カフェでは、当日限定で唐揚げ棒とサンデーを販売。P・workの若者が試作やポップ・メニュー表などを作成し、当日の調理やレジ打ちなどの接客も担当。お客さんからも好評でP・workの若者も喜んでいました。

普段、アップスでは未就学の子どもたちと交流する機会がなかなかないため、アップス縁日のような催しは若者にとって新鮮で貴重な経験ができる機会になりました。地域の方々の協力もあり、本年度も活気に満ちた時間となりました。ご来場くださったみなさま、本当にありがとうございました。





せたがや若者ファンディング



世田谷区では、令和7年4月から施行した**世田谷区子どもの権利条例**や**世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）**に基づき、子ども・若者の意見表明と参加・参画の機会の充実を図るため、さまざまな取組みを進めています。その一環としてスタートした**せたがや若者ファンディング**は、地域の活性化や課題解決を目的とした若者の主体的な地域活動を補助する事業です。7月12日には、書類審査を通過した7団体が公開審査会に臨みました。活動の目的や内容、取り組みもうとしたきっかけなどを熱量が感じられるプレゼンテーションをしていました。同世代の若者も含めた審査員5名によって審議された結果、今年度は応募したすべての団体の活動が採択されました。

KUNTHO	かるたで育てるメディア・リテラシー
SHIMOKITA COLLEGE 文化祭実行委員会	地域に開かれた手作り文化祭
国士舘大学 政経学部 石見ゼミナール	ミニ・クリスマス・マーケットの開催
東京都市大学 西山敏樹研究室	子育て支援としてのミュージックトレイン
DOG-PEE PROJECT	犬との共生社会のためのプロダクト製品開発
演劇団体みちくさ	若者の声を集めた演劇作品創作の上演
Sustainable Dining	食料廃棄課題のための啓発活動

それぞれの団体の今後の活動の進捗状況は、せたがや若者ファンディング公式X、Instagramにて発信していきますので、楽しみにしてください。

ユースカウンスル

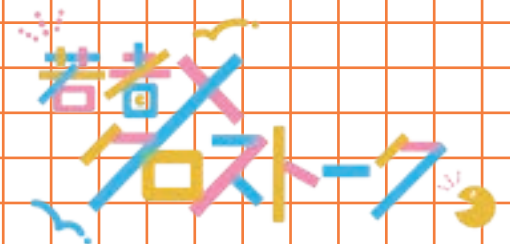


ユースカウンスルとは、“その地域に住む若者たちの声を集め、地域の若者をエンパワメントし、地域を変えるための協議体”のことを意味しています。日本では、わかもの会議、若者議会などとも訳され全国的にも活動が広がっています。自治体ごとにその地域ならではの仕組みを持ちながら、若者が活躍しています。世田谷区では、令和7年7月より「世田谷区ユースカウンスル0期」が公募により集まった中学生～24歳の若者23名とともに始動しました。

キックオフということで、まずはメンバー同士の自己紹介・交流を中心に参加の動機や世田谷の気になることについて話しました。それぞれ目的意識を持って臨んでいる様子で、「ごみの問題」、「世田谷区のイメージについて」、「道路や公共施設」、「若者の政治への関心」に関することは、特に多くの声が挙がりました。

世田谷区ユースカウンスルでは、若者発のまちの課題と、行政発のまちの課題に対して、調査・検討をして、世田谷区に提言していきます。どのような方法でプロジェクトを進めていくかなど、仕組みも含めてメンバーと相談しながら決めていくため、方針を検討するにあたって、中野区でユースカウンスルの活動をされている方をお招きしてお話を伺い、先行事例を参考にユースカウンスルへの理解を深め、イメージを具体化しました。

さらに、9月には、静岡県菊川市へ視察に伺い、実際に活動に参加している同世代の若者同士で交流します。全国の同志からさまざまな刺激を受けて世田谷区ならではの仕組みを構築し、その中で若者がどのように世田谷を変えていくのか！乞うご期待！



ロストークとは、昨年度から始まった、大学生世代以上の若者を対象とした本音で語り合うプログラム。

●居場所、まちづくり、環境など、様々な分野において若者が力を発揮するためにどうすればいいのかを「若者 ×○○」と題した毎回異なるテーマで参加者と共に考えます。本年度の第一回は「若者 × 地域」をテーマに開催。

●「地域で活動する際のモチベーションは？」「地域での活動にインセンティブは必要？それとも不必要？」「私は地域のこんな場所で活動してみたい！」など、様々なテーマで12名の若者が意見交換を重ねました。また実際に地域で活動する大学生の実践報告もありました。

●ワールドカフェ形式をとったことで、時間が足りないほど全員の意見交換が進み、地域に関する若者の考え方や熱量に触れる機会となりました。次回も、今回のような若者の秘めた思いや考えを語り合える場を築いていきたいと思います。

若者の声

自分の意見を発言することによって自分が何のために、どんな理由で活動しているのが整理できた！

普段ではなかなか話し合うことができないような人たちと話すことができて、新しい考えなども出たので良かった。

地域で繋がりをもっている方々がどのような活動をしているのか、お互いの悩みを共有することができたのが良かったです。

普段関われない同世代と話すことができて、視野が広がりました！

同じ年代の人たちとは思えないくらい志をもって驚かされるばかりでした。

自分たちとはジャンルの異なる団体の事情をインセンティブを中心に知ることができてとても有意義な時間でした。

色々な方が色々な活動をしている話はどれもとても興味深かったし、たくさん交流ができて良かった。

様々な意見を聞くことができ、様々な活動を知ることができた。